

アロンウオールは、4つのコンセプトで建物を守ります。

建物保護

## 過酷な自然環境から建物を長期保護

### 漏水と鉄筋腐食の防止

アクリクゴムの優れた柔軟性により、雨水の浸入を長期間シャットアウトします。

### コンクリートの劣化防止

1mm厚のアロンウオール塗膜は、コンクリートのかぶり約5mに相当します。改修工事によりアルカリ（中性化）復元効果などの優れた性能を発揮します。

### ALC 外壁の劣化防止

塩害、凍害などによる外壁 ALC の劣化を防止します。目地のシーリング材を保護し、防水性と共にアルカリ（中性化）復元効果などの優れた性能を発揮します。

### コンクリートの劣化防止

1mm厚のアロンウオール塗膜は、コンクリートのかぶり約5mに相当します。改修工事によりアルカリ（中性化）復元効果などの優れた性能を発揮します。

### 塩害や凍害も防止

外部からの塩分や酸素、水分の浸透を防止し、防水性とコンクリート内部の水分を外部に放出する呼吸性を併せ持っているため、凍害防止にも優れた性能を発揮します。



塩害対策暴露センター（沖縄県）

### 外壁の剥落防止

地震などの災害時にも、被害を軽度に抑えることができます。

◎阪神・淡路大震災時においても被害軽減を実証

アロンウオールは、長期柔軟性と躯体保護機能により、大地震の際にも、下地を含む仕上材の剥落など被害を軽度に抑えていることがわかりました。



阪神・淡路大震災におけるアロンウオール塗布外壁の状況



阪神・淡路大震災における一般的な外壁の状況

美観維持

## いつまでも美しい外観を維持

### 目立たないひび割れ補修方法

ひび割れ部の処理に下地挙動緩衝材を塗布し施工することにより、「長期にわたるひび割れの再発防止」や「ひび割れ部」を目立たなくすることができます。

従来のUカット+シーリング材充填は、ひび割れ処理跡が残るばかりでなく、経年によって更に目立つことがあります。

従来工法  
Uカット+シーリング材重鎮工法による補

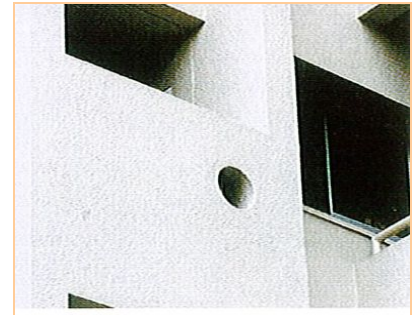


施工後の数年経過

【アロンウオール ACC 工法 SH】による補修



施工前



アロンウオール施工後 約15年経過

環境配慮

## 環境に配慮した工法を提案

### オール水性仕様

ひび割れ処理に下地挙動緩衝材「アロンウオール SH」を塗布することで、工程数が減り工事日数を削減でき、それにともない下地処理費用の軽減が可能になります。

### 長寿命化でリデュース（廃棄物の減量）に貢献

\*リデュース・・・廃棄物の排出そのものを抑制すること。

建物の廃棄や新築に伴う廃棄物の発生・建築資材の消費を抑制することにより環境保護に貢献します。

コスト  
パフォーマンス

## ハイパフォーマンスで トータルコストを低減

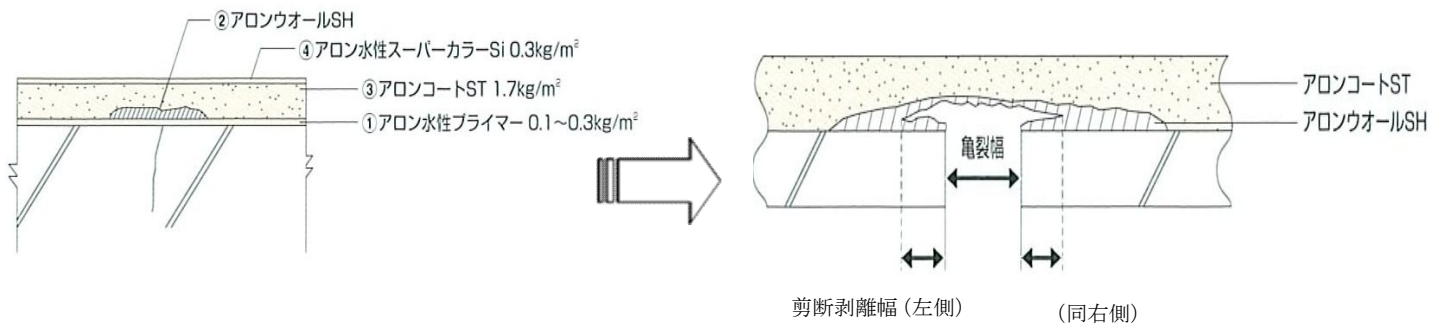
## ひび割れ処理費を低減

ひび割れ処理に下地挙動緩衝材「アロンウォール SH」を塗布すると、工事日数を削減でき、下地処理費用の軽減が可能になります。



## アロンウォール SH 詳細説明

- ・アロンウォール SH 塗布時 断面イメージ
- ・塗布後（ひび割れ発生時）断面イメージ



- ・アロンウォール SH 塗布によるアロンウォールのひび割れ追従

下地変位	アロンウォール(標準) [アロンウォール SH 塗布なし]	アロンウォール アロンウォール SH 塗布 (0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> 30~50mm幅塗布)	備考
単純ゼロスパン テンション 	5mm	28mm	アロンコート ST 塗膜の破断時(ピンホール)の亀裂幅(ひび割れ追従幅)を示した。
上下変動 	12mm	36mm	
前後変動 	15mm	29mm	

## 外壁改修 下地処理費を低減

アロンウォールで外壁を改修する際、目地部やサッシ廻りのシーリング材なども外壁と共に一体で被覆するため、既設シーリング材の劣化程度によっては、シーリング材の処理費用が低減できる場合があります。更にシーリング材の上から、アロンウォールを被覆することにより、シーリング材を保護する効果も期待できます。